

財務諸表に対する注記(一般会計)

1.重要な会計方針

(1)固定資産の減価償却の方法

什器備品……定額法による減価償却を実施している。

2.基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位:円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
定期預金	2,000,000	0	0	2,000,000
小 計	2,000,000	0	0	2,000,000
特定資産				
終身会費積立預金	8,000,000	2,000,000	3,000,000	7,000,000
小 計	8,000,000	2,000,000	3,000,000	7,000,000
合 計	10,000,000	2,000,000	3,000,000	9,000,000

3.基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は次のとおりである。

(単位:円)

科 目	当期末残高	(うち指定正味財 産からの充当額)	(うち一般正味財 産からの充当額)	(うち負債に対応す る額)
基本財産				
定期預金	2,000,000	-	(2,000,000)	-
小 計	2,000,000	-	(2,000,000)	-
特定資産				
終身会費積立預金	7,000,000	-	(7,000,000)	-
小 計	7,000,000	-	(7,000,000)	-
合 計	9,000,000	-	(9,000,000)	-

4.固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。

(単位:円)

科 目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
什 器 備 品	3,171,750	2,854,574	317,176
合 計	3,171,750	2,854,574	317,176